



研究ニュース No.5

研究全般に関わる情報を定期的に配信いたします。



学生向け



大学院生向け



教員・研究員向け

発行日：2023年11月1日
発行者：フロンティア研究推進機構事務室
〒658-8501
神戸市東灘区岡本 8-9-1
(岡本キャンパス 12号館 6階)
電話 078-435-2559/2754
メール konanfront@adm.konan-u.ac.jp



「安全保障輸出管理研修会」を開催します

「甲南大学における研究費不正防止計画」に基づく第3回啓発活動は

「安全保障輸出管理研修会」を開催します。ご参加ください。

近年、国際的な安全保障上の技術流出の懸念が高まっていることを受け、大学においても法令を遵守し、軍事転用が可能な機微技術を適切に管理することが求められていることから「安全保障輸出管理」をテーマとして研修会を開催します。兵庫県警と神戸税関より講師をお招きし、技術の不正流出や貨物の不正輸出防止について講演いただきます。

研究活動における外国とのやりとり、外国人や留学生の受け入れ等、日常的な教育研究活動においても輸出管理の対象となる例が多く存在します。本研修会にご参加いただき、安全保障輸出管理へのご理解と管理徹底をお願いします。

◆ 研修会の概要 ◆

日時 2023年11月16日(木) 14:40~16:10

場所 岡本キャンパス 5号館1階 511講義室

内容 1. 技術流出の防止に向けて／兵庫県警察本部警備部
2. 貨物の不正輸出防止(仮)／神戸税関調査部

備考 ①専任教職員・研究員・研究費執行に関わる構成員など広くご参加ください
②情報管理のためオンライン配信はありません
③申込不要



知能情報学部 灘本教授が「クロスメディアイベント「078KOBE」カンファレンス」に登壇

知能情報学部の灘本明代 教授が「AI 技術の進化と地域社会の変革～未来のひょうご・神戸の力ギ～ 西村康稔 経済産業大臣を迎えて」のパネリストとして登壇されます。

このイベントは、AI 技術が地域社会を根本的に変える可能性を背景に、生成 AI 技術の可能性やリスク、神戸での AI 技術に係る人材育成の実践や展望、さらには AI 技術の進化が地域社会の変革をけん引する未来像について、西村康稔 経済産業大臣をゲストに議論し、AI 技術が地域社会における人材育成と地域経済の変革に果たす役割を多角的な視点で考え、持続可能な未来への道筋を考えるもので、甲南大学も後援しています。

◆カンファレンスの概要◆

日時 2023年11月23日(木) 12:30~14:00(受付12:00~)

場所 神戸大学 統合研究拠点 コンベンションホール

神戸市中央区港島南町7丁目1-48 ポートライナー「計算科学センター」駅徒歩

内容 ①基調講演 西村康稔 経済産業大臣

テーマ「大規模言語モデル(LLM)の誕生によるAI技術の進化と地域社会の革命的な
変革」:20分

②パネルディスカッション

【パネラー】

西村康稔 経済産業大臣、衆議院議員

藤澤正人 国立大学法人神戸大学長

本城嘉太郎 monoAI technology 株式会社(モアイテクノロジー) 代表取締役社長

灘本明代:甲南大学教授、知能情報学部長

【コーディネーター】

村岡正和:株式会社神戸デジタル・ラボ(KDL) 執行役員

後援 神戸新聞社、神戸市、神戸大学、甲南大学

申込 参加無料 2次元バーコードから申し込んでください。

(定員250名になり次第締め切り)



甲南大学公開講座・甲南大学ビジネス・イノベーション研究所第39回研究会を開催

全体テーマ 「グローバルビジネスの拡大とサプライチェーンの強靱化」

日時 2023年12月7日(木) 13:30~16:00

司会・コーディネーター 杉田俊明経営学部教授・ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員

第1部 東レ繊維事業の成長戦略

担当講師:石井一氏 東レ株式会社 常務執行役員・繊維事業本部副本部長・グローバルSCM
部門長(タイやマレーシア現地法人の営業部長、取締役、本社の会長秘書などを歴任)

世界情勢や市場、消費者要望の変化などに迅速敏感に反応し、従来型の製造業から「情報製造業への変革によるグローバルサプライチェーンマネジメントの深化」を図り、グローバルビジネスにおいて快進撃を続ける知名SPA企業を支え、ビジネスの拡大を図る東レ繊維事業の成長戦略についてお話し
ます。

第2部 戦略としてのデリスキングとレジリエンス・ポートフォリオ

担当講師:杉田俊明経営学部教授・ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員

アジア・中国をもとにグローバルビジネスの現場での調査研究担当歴は40年を超え、日本企業をはじめ

め、グローバルにおいても多大な影響力をもつ華人系財閥企業など、数々のケース研究から転換期における企業のグローバル経営戦略の最新動向について紹介します。

受講方法 ハイブリッド（会場参加 25 名・オンライン 50 名）

場所 甲南大学ネットワークキャンパス東京

受講料 無料



【先端生命工学研究所】遠藤准教授が「大隅ライフサイエンス研究会奨励賞」を受賞

先端生命工学研究所（FIBER）の遠藤玉樹准教授が、2023年度の「大隅ライフサイエンス研究会奨励賞」を受賞することになりました。大隅ライフサイエンス研究会奨励賞「The Award of Ohsumi Life Science Research Society for Young Scientist」は、ライフサイエンス分野における研究を奨励するため、日本国内の大学および公的研究機関においてライフサイエンス関連の研究を実施し、顕著な業績をあげた若手研究者（45歳以下）の中から、毎年選出されています。遠藤准教授は、「生命現象の定量的解析に向けた「RNA構造スイッチ」を基盤としたバイオセンサーの開発」に関連する研究成果が評価され、本賞を受賞することになりました。

この度の受賞、おめでとうございます！



研究費執行における「インボイス制度」への対応のお願い

10月より始まりましたインボイス制度に伴い、①謝金・報酬料を支払う場合、②個人立替で学会等の年会費・諸会費を支払う場合、支払先の個人・事業者等が「インボイス発行業者」であるかの確認が必要になります。執行時に必ずご確認のうえ、以下の要領でご報告いただきますようお願いいたします。

なお、科研費の執行においては対応の必要はありません。

①謝金・報酬料を支払う場合

謝金や報酬料を支払う方に「インボイス発行事業者であるかどうか」を確認してください。

科研費プロで「謝金申請・支払申請書」を作成・出力後に、インボイス発行事業者の場合は事業者番号（Tから始まる13桁の数字）を手書きで加筆してください。該当しない場合は、「免税事業者」であるか「未登録」を確認いただき○を加筆して提出してください。

【確認方法】インボイス発行事業者であるか？

- ・ はい → インボイス発行事業者の番号を申請書に書いてください。
- ・ いいえ → 下記のどちらに当てはまるかを支払先に確認してください。確認後、申請に
 - ⇒ 免税事業者である
 - ⇒ インボイス発行事業者または免税事業者のどちらにも当てはまらない

②個人立替で学会等の年会費・諸会費を支払う場合

個人立替で学会等の団体へ支払を行った場合、その支払先の団体等がインボイス発行事業者であるかどうかの確認が必要です。（郵便・銀行振込で支払う場合は対応する必要はありません）

請求書または領収書にTから始まる13桁の数字が記載されていればインボイス発行事業者です。
記載がない場合は、次のどれに当てはまるかを支払先に確認してください。

⇒ インボイス発行事業者

⇒ 免税事業者

⇒ インボイス発行事業者または免税事業者のどちらにも当てはまらない

精算の際は、領収書等をA4用紙に貼付のうえ、「インボイス発行事業者（事業者番号）」「免税事業者」「未登録事業者」の別を用紙内に記入してください。

※「未登録事業者」とは、インボイス発行事業者、免税事業者のどちらにも当てはまらない支払先を指します。



情報提供のお願い（論文発表・学会発表 等）

論文発表、学会発表などをされた場合は、フロンティア研究推進機構事務室に概要をお知らせいただきますようお願いいたします。（sangaku@ml.konan-u.ac.jp）教員のみなさまには、大学情報データベースへの記録もお願いいたします。HP・研究ニュースなどを通じて、情報発信させていただきます。